

 **三井松島産業株式会社**  
MITSUI MATSUSHIMA CO. LTD.

**2016年3月期第2四半期決算説明資料**  
2015年11月



- ・ 2016年3月期第2四半期決算報告 P.3
- ・ 2016年3月期連結業績予想 P.9
- ・ 成長戦略 P.11
- ・ 当社グループの事業案内 P.16
  - エネルギー事業本部について P.17
  - 非エネルギー事業本部について P.21
- ・ 参考 P.27

# 2016年3月期第2四半期決算報告

# 連結損益計算書

- 売上高 石炭販売事業において販売数量の減少、及び石炭価格の下落などにより減収
- 営業利益 石炭生産事業において石炭代金決済レート（US\$/A\$）の豪ドル安などにより増益
- 経常利益
  - （営業外収益） 為替差益1億40百万円（前年同期は為替差損1億88百万円）、受取利息1億28百万円（前年同期比18百万円増）、持分法投資利益（LCS社、GDM社）67百万円（前年同期比30百万円減）計上
  - （営業外費用） 支払利息83百万円（前年同期比6百万円減）計上
- 親会社株主四半期純利益
  - （特別利益） 補助金収入2億68百万円
  - （特別損失） 固定資産圧縮損2億48百万円、補償損失73百万円計上
  - （税金費用） 2億2百万円（前年同期比3億47百万円増）計上

（単位：百万円）	2015/3期 2Q	2016/3期 2Q	対前期比 増減額
売上高	31,978	30,477	▲1,501
営業利益 （のれん償却前営業利益）※	▲649 （▲504）	442 （592）	1,091 （1,096）
経常利益	▲639	760	1,400
親会社株主 四半期純利益	▲703	500	1,203

※のれん償却前営業利益とは、企業買収によって生じるのれんの償却額を除外して算出される営業利益。

# 連結セグメント情報

◎当社では、今年度からセグメント利益の表示の下に「のれん償却前」のセグメント利益（企業買収によって生じるのれん償却額を除外して算出される営業利益）を追記しております。

■ 石炭販売・生産事業 詳細は、次ページ「石炭販売・生産事業の内訳」に記載

## 【売上高】

事業名 (単位:百万円)	2015/3期 2Q	2016/3期 2Q	対前期比較 増減額
石炭販売	23,944	20,892	▲3,052
石炭生産	5,847	6,345	497
再生可能エネルギー	121	184	62
飲食用資材	1,813	2,204	391
施設運営受託	2,883	3,261	378
不動産	203	187	▲16
港湾	281	255	▲25
その他	921	803	▲117
調整額	▲4,039	▲3,657	381
合計	31,978	30,477	▲1,501

## 【セグメント利益】

事業名 (単位:百万円)	2015/3期 2Q	2016/3期 2Q	対前期比較 増減額
石炭販売	210	155	▲54
石炭生産 (のれん償却前)	▲479 (▲446)	400 (438)	879 (885)
再生可能エネルギー	59	102	43
飲食用資材 (のれん償却前)	145 (191)	306 (351)	160 (160)
施設運営受託 (のれん償却前)	2 (68)	131 (198)	129 (129)
不動産	60	59	▲1
港湾	46	18	▲27
その他	▲32	▲75	▲43
調整額	▲660	▲656	4
合計 (のれん償却前)	▲649 (▲504)	442 (592)	1,091 (1,096)

※売上高は、セグメント間取引消去前の売上高を表示しております。

※「その他」には、介護事業、海外派遣研修事業等を含んでおります。

また、石炭生産事業におけるセグメント利益には持分法投資利益（2015/3期2Q 97百万円、2016/3期2Q 67百万円）が含まれております。

※セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない本社一般管理費及び持分法投資損益等であります。

# 石炭販売・生産事業の内訳

- 石炭販売 売上高、セグメント利益：販売数量の減少及び石炭価格の下落により減収・減益
- 石炭生産 売上高、セグメント利益：石炭価格が下落したものの石炭代金決済レート（US\$/A\$）の豪ドル安により増収・増益

## 【売上高】

(単位:百万円)	2015/3期 2Q	2016/3期 2Q	対前期比較 増減額
石炭販売	23,944	20,892	▲3,052
販売数量	253万トン	232万トン	▲21万トン
石炭生産	5,847	6,345	497
販売数量	68万トン	69万トン	1万トン
調整額	▲4,008	▲3,611	396
石炭事業合計	25,784	23,626	▲2,158

## 【セグメント利益】

(単位:百万円)	2015/3期 2Q	2016/3期 2Q	対前期比較 増減額
石炭販売	210	155	▲54
石炭生産 (内、持分法投資利益)	▲479 (97)	400 (67)	879 (▲30)
調整額	—	—	—
石炭事業合計	▲268	556	824

主要指標		2015/3期 2Q実績	2016/3期 2Q実績	差額
石炭販売 (4~9月決算)	石炭輸入販売平均価格	9,443円	8,987円	▲456円
	為替 円 / US\$ (平均レート)	102.82円	122.19円	円安 19.37円
石炭生産 (1~6月決算)	石炭平均価格 一般炭	US\$ 87.49	US\$ 73.75	US\$ ▲13.74
	石炭平均価格 非微粘結炭	US\$ 97.81	US\$ 81.06	US\$ ▲16.75
	為替 US\$ / A\$ (平均レート)	US\$ 0.9518	US\$ 0.7700	豪ドル安US\$ ▲0.1818
	為替 円 / A\$ (平均レート)	93.72円	94.09円	円安 0.37円

# 連結貸借対照表

	2015/3月末		2015/9月末		増減額 (百万円)	主な増減要因
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)		
流動資産	22,079	38.0	22,440	40.0	360	現預金+1,096、棚卸資産▲325
固定資産	36,012	62.0	33,655	60.0	▲2,356	有形固定資産▲1,203、長期預金▲1,274
資産合計	58,091	100.0	56,095	100.0	▲1,996	
流動負債	8,780	15.1	8,028	14.3	▲751	短期借入金▲254、未払法人税等▲342
固定負債	14,879	25.6	14,672	26.2	▲207	繰延税金負債▲188
負債合計	23,659	40.7	22,701	40.5	▲958	
純資産合計	34,432	59.3	33,394	59.5	▲1,037	親会社株主四半期純利益+500、 支払配当▲554、 為替換算調整勘定▲906
負債・純資産合計	58,091	100.0	56,095	100.0	▲1,996	

	2015/3月末	2015/9月末
現金及び預金 (長期預金含む)	15,062	14,884
借入金 (社債含む)	▲11,320	▲11,163
ネット現預金	3,741	3,720
《経営指標》		
自己資本比率 (%)	59.3	59.5
D/Eレシオ (倍)	0.43	0.43

# 連結キャッシュフロー

(単位:百万円)	2015/3期 2Q	2016/3期 2Q	主な要因
税金等調整前四半期純利益(▲損失)	▲847	706	
減価償却費	1,060	1,148	
運転資金	1,468	432	・棚卸資産の減少、売上債権の減少
その他	50	▲344	・法人税等の支払い
営業活動によるCF	1,732	1,942	
固定資産の増減	▲893	▲348	・連結子会社における資産取得等による支出
投資有価証券	86	▲1	
長期貸付金	▲2	▲691	・連結子会社における貸付による支出
その他	▲102	14	
投資活動によるCF	▲911	▲1,028	
借入金・社債の増減	▲1,382	▲154	・借入金の返済および社債の償還による支出
配当金の支払	▲551	▲551	
その他	▲34	▲48	・リース債務返済による支出
財務活動によるCF	▲1,968	▲753	
現金及び預金同等物換算差額	▲109	▲225	
現金及び現金同等物の増減額	▲1,257	▲65	
現金及び現金同等物の期首残高	11,145	11,647	
現金及び現金同等物の期末残高	9,887	11,581	



# 2016年3月期連結業績予想

# 2016年3月期 連結業績予想

- **売上高** 衣料品事業（花菱縫製株式会社）の子会社化による業績取り込み、及び石炭販売事業の販売数量の増加などにより増収の見込み
- **営業利益** 衣料品事業（花菱縫製株式会社）の子会社化による業績取り込み、及び石炭生産事業において当初想定より石炭価格が上昇したことなどにより増益の見込み
- **経常利益** 上記営業利益の増加に加え、海外子会社において為替差益の計上が見込まれることなどにより増益の見込み

・下記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値とは異なる結果になる可能性があります。

## 2016年3月期 連結業績予想

(単位:億円)	2015年5月8日発表	2015年11月6日修正	増減額
売上高	600	640	40
営業利益	1	7	6
(のれん償却前営業利益)※	(4)	(10)	(6)
経常利益	4	12	8
親会社株主四半期純利益	2	10	8

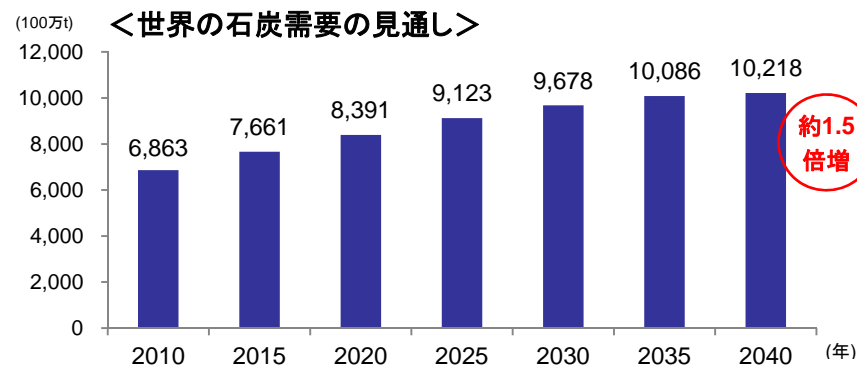
※のれん償却前営業利益とは、企業買収によって生じるのれんの償却額を除外して算出される営業利益。

# 成長戦略

## 当社グループを取り巻く事業環境

### 石炭の有用性・将来性

- 石炭(一般炭)は、化石燃料の中でも地政学リスクが最も低く、熱量当たりの単価も最も安い、**世界の発電の約40%をまかなう主要なエネルギー資源**
- 石炭(原料炭)は、**インフラ構築に欠かせない鉄鋼製品の原料**となる資源
- 今後も新興国の経済成長を背景に**世界の石炭需要は拡大の見通し**であり、**日本国内においても石炭火力発電所の新增設により中長期的な石炭需要の拡大が予想される**



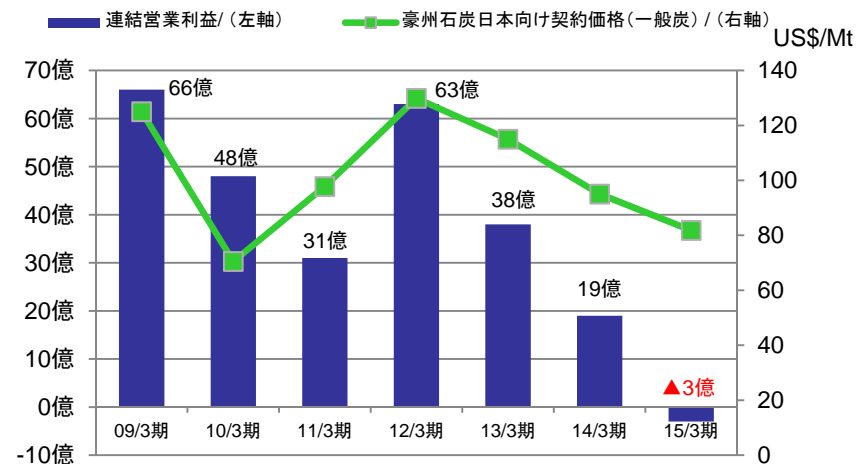
(出所): EIA International Energy Outlook 2013  
Table A7. World coal consumption by region, Reference case, 2009-2040  
(※単位をBtuからmetric tonsへEIAサイト内 Coal conversion calculatorを用いて換算)

⇒ 将来的には、石炭市況の回復が見込まれ、当社グループの中核事業である石炭生産事業は、引き続き**将来有望な事業**であると考えます。

### 外部要因に左右される石炭生産事業

- 当社グループの石炭生産事業は、**石炭価格や為替の変動といった外部要因により収益が大きく変動する**
- 近年、再生可能エネルギーやシェールガス等エネルギー資源を取り巻く構造にも変化が進んできており、**将来的なエネルギー需給構造の変化**にも備える必要がある

#### ＜当社グループの連結営業利益・石炭価格(一般炭)の推移＞



⇒ 石炭価格や外国為替等の外部要因により収益が変動しない事業分野で**安定収益を確保**する必要があると考えます。

## 成長戦略

### ■ 新規石炭鉱山の権益確保による中核事業の収益力強化

グループで保有する石炭関連の高い技術力を駆使し、収益の柱となる新規権益炭を獲得することで、中核事業である石炭生産事業の収益力を強化する

### ■ 新規事業の育成による収益の安定化・多様化

石炭価格・為替の変動、社会環境やエネルギー構造の大きな変化に備えて、収益の安定化・多様化を図るべく、石炭生産事業以外の新規事業を育成・強化することで、安定した収益を確保する

安定的な事業ポートフォリオの構築による持続的な成長・発展

## 新規石炭鉱山の権益確保による中核事業の収益力強化

### これまでの取組み

- ◆ インドネシアGDM炭鉱開発（**権益炭30万tの計画**）
- ◆ 豪州スクエア社との合併会社による探査段階からの権益確保への取組（**豪州にて有望炭層を発見**）
- ◆ 永田エンジニアリング社が**NEDOよりモンゴルでの乾式選炭技術システム実証前調査事業を受託**

### 今後の方向性

新規石炭鉱山の権益確保および既存プロジェクトの安定生産による収益力強化に努めると共に、多様化する石炭需要家ニーズを満たす様々な新規サービスの提供にも取り組む

## 新規事業の育成による収益の安定化・多様化

### これまでの取組み

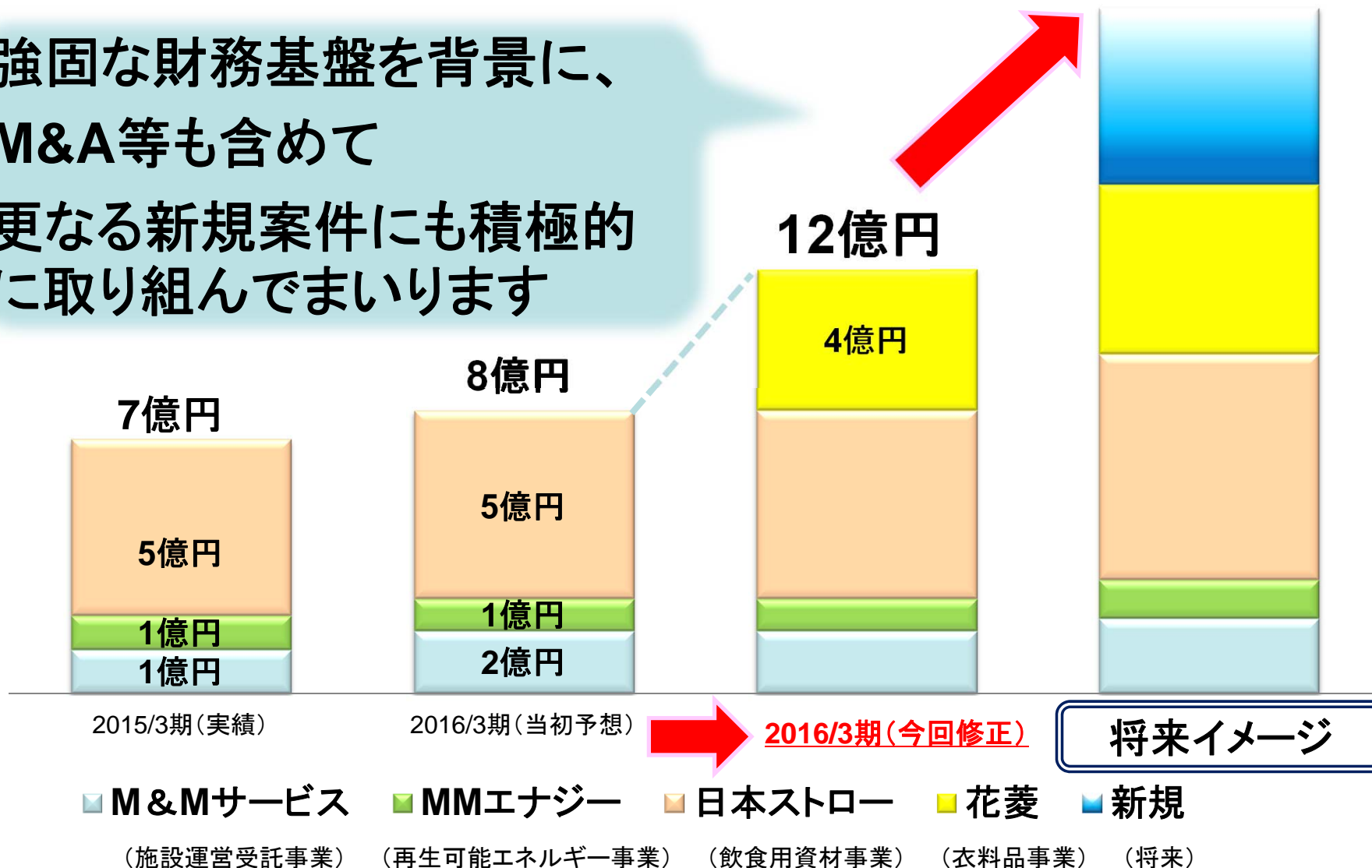
- ◆ エムアンドエムサービス社（**施設運営受託事業**）の株式取得
- ◆ 社有地を活用して**太陽光発電事業**に参入（発電能力6MW規模）
- ◆ 社有地を活用して**介護事業**に参入（サービス付き高齢者向け住宅2棟運営）
- ◆ 日本ストロー社（**飲食用資材事業**）の株式取得
- ◆ 花菱縫製社（**衣料品事業**）の株式取得

### 今後の方向性

これまで買収および新規参入した各事業の育成を行うと共に、強固な財務基盤を背景に、M&A等も含めて更なる新規案件にも積極的に取り組む

## 新規事業のセグメント利益推移(のれん償却前)

強固な財務基盤を背景に、  
M&A等も含めて  
更なる新規案件にも積極的に  
取り組んでまいります



## 当社グループの事業案内



# エネルギー事業本部について

# 石炭販売事業

2015年10月1日現在

◆ 出資した海外炭鉱から生産される石炭を中心に、豪州・インドネシア・カナダ・米国・中国などから石炭を調達し、日本の鉄鋼会社・電力会社・一般産業などの需要家に販売

2014年度実績：販売数量 519万t

(鉄鋼向 約57%、電力・一般産業向け 約43%)

原料炭 約17%、一般炭 約83%)

## カナダ

**ウォルターエナジー社** (株式保有/対日独占販売権)

**ウォルバリン炭鉱** …原料炭

**ブルーレ炭鉱** …原料炭

**ウイロウクリーク炭鉱** …原料炭

**グレンコアコールカナダリソース社** (対日独占販売権)

**ロッサン炭鉱** …原料炭・PCI炭(開発予定)

## 中国

**神華集団**  
**中煤集団**  
**晋煤集団**

## インドネシア

**ABK社** (対日独占販売権)

**ABK炭鉱** …一般炭

**GDM社** (30%出資/対日独占販売権)

**GDM炭鉱** …一般炭(開発中)

**タイガーエナジートレーディング社**

(対日一部需要化向け販売)

**JMB炭鉱** …一般炭

**セブク炭鉱** …一般炭

## オーストラリア

**リデルジョイントベンチャー社**

(32.5%出資/対日独占販売権)

**リデル炭鉱** …一般炭・原料炭

## ■ 豪州リデル炭鉱

- ◆ NSW州ハンターバレー地区に位置
- ◆ 現地法人の三井松島オーストラリア社が32.5%保有し、スイス資源大手のGlencore社67.5%のジョイントベンチャー
- ◆ 良質な一般炭及び原料炭が生産され、主に日本の優良な需要家向けに販売



- ◆ 年産約700万t  
⇒ 権益炭約150万t



## ■ インドネシアGDM炭鉱開発

- ◆ 当社グループが有する坑内掘り技術のノウハウをGDM社へ提供。同国では初の大規模な機械化採炭方式による坑内掘り炭鉱を開発中
- ◆ 年産約100万tを計画  
⇒ 将来的には権益炭約30万t

## ■ 探査事業

### 豪州Square Resources Holdingsとの探査事業～有望炭層発見～

- ◆ 豪州クィーズランド州のMimosa炭鉱区で実施した試錐探査において有望な炭層を発見





## ■再生可能エネルギー事業 MMエナジー株式会社



### メガソーラーつやざき発電所 No.1～No.3稼働

- ◆ 2013年3月から発電開始
- ◆ 福岡県福津市内にある当社社有地(約10万㎡)を利用して、現在 **6 MWの太陽光発電所**を運営。発電能力は6 MW規模であり、一般家庭約2,000世帯分の年間消費電力に相当
- ◆ 電力不足対策や環境負荷低減などの社会貢献という面からも、今後も再生可能エネルギーの普及・拡大を目指し、地球環境や地域、社会に貢献していく

## ■エンジニアリング事業 永田エンジニアリング株式会社

### 国内で唯一の選炭技術保有

#### ～モンゴルでの乾式選炭技術普及への取組み～

- ◆ 国内で唯一「**石炭の選別技術**」を有し、長年にわたり培われた独自性の高いノウハウを活かし、環境資源リサイクル分野への進出も果たしている
- ◆ モンゴルでの乾式選炭技術システム実証前調査事業を受託。水を全く使用しない乾式比重分離技術を商業規模での選炭に応用。乾式選炭システムとして確立させるとともに、モンゴル国の石炭産業の高度化に寄与する。



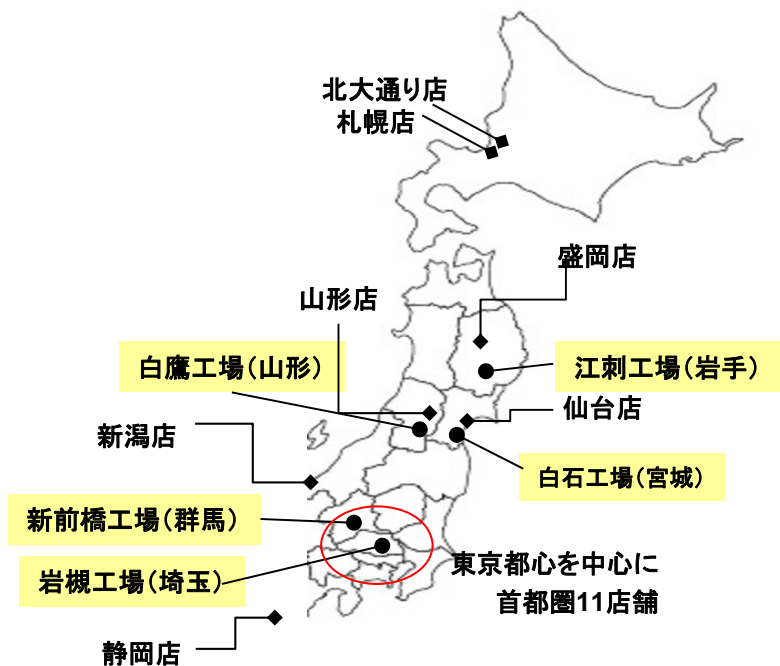
# 非エネルギー事業本部について

# 衣料品事業 花菱縫製株式会社

- ◆ 昭和10年（1935年）創業、「**イージーオーダースーツ**」の先駆者として、商品開発から生産・販売までの**国内一貫体制**による事業を展開。大手百貨店や多くの消費者から高い評価を得ており、確固たる取引基盤を有し、安定した業績で推移している。
- ◆ 今後は**西日本地区への進出**、**EC事業の拡大**、**婦人服の需要増加**等、更なる成長可能性を有している。



HANABISHI  
THE TAILOR OF JAPAN SINCE 1935



- ◆ 5拠点に工場を構えており、東北・関東を中心に直営18店舗を展開。



- ◆ HANABISHIは、年齢、性別、職業にとられない「**楽しむオーダーメイド**」を提供してまいります。





# 施設運営受託事業 株式会社エムアンドエムサービス

- ◆ お客様の心に残る**高品質なサービス**と**長い経験から学んだ独自の運営ノウハウ**で日本各地の民間企業・地方公共団体が保有する保養所・研修所・その他施設の運営受託事業を展開。
- ◆ 今後は九州地区を含め運営受託事業の拡大を推進。

「お宿ねっと」 <http://www.oyadonet.com/>

M&Mサービスが運営する一流企業の保養所や  
公共の宿の情報を提供するサイト



< 施設一例 >



- ◆ 昭和58年の伸縮用ストローを開発以来、業界の先駆者として独自の技術・ノウハウを蓄積し国内伸縮ストローの市場で圧倒的な市場シェア（約65%・当社調べ）を有するリーディングカンパニー。
- ◆ 大手乳業・飲料メーカー等の優良顧客からの高い信頼と評価による安定的な取引基盤構築及び堅調な業績達成。
- ◆ 独自の技術力、製品開発力、多品種製造対応力及び品質管理能力における比較優位性。



多機能ストロー（伸縮エチケット蛇腹）



シングルストロー



エクストロー

## ■今後の成長性

- ◆ 伸縮ストローが主流となっていない海外市場への拡販等を推進
- ◆ 寝ている状態でも少しずつ飲むことが可能なストローの開発など（例：エクストロー）、介護関連業界からの要望に沿った製品を開発し、国内の新たな需要を開拓
- ◆ 主にコンビニ向けのシングルストロー取引の拡大
- ◆ ストローの技術を応用した飲料以外の用途の開拓



- ◆ 福岡市早良区の都心に近い恵まれた立地に、当社グループが運営する介護と医療が連携した“安心して暮らせる” サービス付き高齢者向け住宅2棟（パインガーデン藤崎・パインガーデン室見）を運営。
- ◆ 詳しくは、[092-847-1518](tel:092-847-1518)（パインガーデン藤崎） / [092-847-1515](tel:092-847-1515)（パインガーデン室見）までお問い合わせいただくか、MMライフサポート社HP（<http://pinegarden.jp/>）をご覧ください。



## いつまでも、ここで、笑顔で暮らす



1階 デイサービス兼機能訓練室

- ◆ 1階には入居者と地域の方々がともに楽しむ**デイサービス**などの介護ステーションを併設。**訪問介護**も行っており、安心のサービスをトータルで提供
- ◆ 宿泊・デイサービス体験、食事会&見学会を実施中



## 安心と暮らす、アクティブに暮らす



5階 屋上庭園

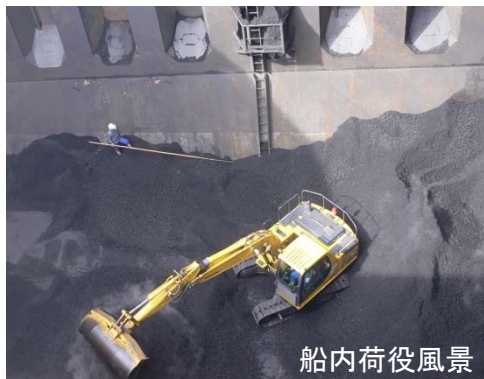
- ◆ 1階には**内科クリニック**と**調剤薬局**を併設しており、日々の健康をサポート
- ◆ 季節の花々を眺めながら車椅子でも散策を楽しむことができる屋上庭園付き。
- ◆ 宿泊体験、食事会&見学会を実施中

# その他の事業

## ■ 港湾事業 松島港湾運輸株式会社

### 安全で確実な石炭の荷役、倉庫業

- ◆ 長崎県西海市の電源開発(株)松島火力発電所において、発電所で使用する年間約250万トンの石炭荷揚げ作業を主業務とした発電所構内の諸作業を遂行



船内荷役風景



火力発電所の揚炭風景

## ■ 不動産事業



大手門パインビル(福岡市)

- ◆ 九州地区に所有する賃貸ビルマンション・駐車場・土地等の賃貸事業や高齢者に優しい住宅の提供等を展開

## ■ 海外派遣研修事業

- ◆ 三井松島リソース株式会社は、アジア諸国を対象とした炭鉱技術移転事業(研修事業)を実施



坑内研修風景

### 池島炭鉱坑内ツアー

元炭鉱ガイドマンの説明で当時のトロッコ電車に乗車し坑内ツアーを実施中。

※必ず事前予約が必要です。詳細は、

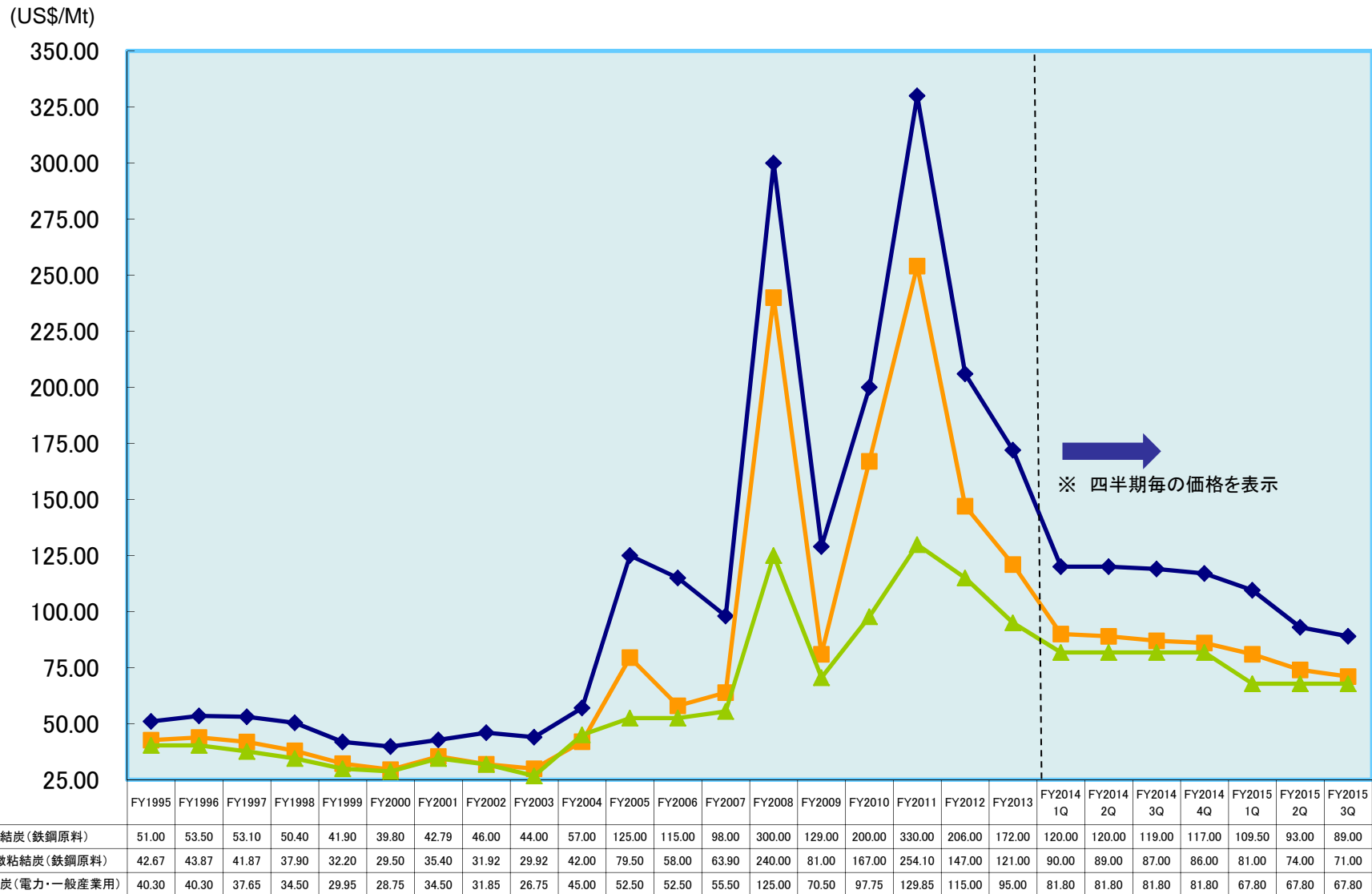
長崎国際観光コンベンション協会

(TEL095-823-7423 FAX095-824-9128)



# 参考

# 豪州石炭日本向け契約価格の動向



(契約価格は当社調べ) ※一般炭価格は各年度4月起し価格を表示

本資料の将来の業績に関わる記述等については、将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境に関する前提条件の変化等に伴い、変化する可能性があることにご留意下さい。従いまして、本情報及び資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行ってください。また本資料の利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切の責任を負いません。

＜IR問い合わせ先＞ 総務部・経営企画部 TEL 092-771-2171